

# SEF News Letter

vol.85  
2022.10

## headline

- ☑ 第1回 総会開催
- ☑ 事業活動報告  
ゼロエミッション研究会
- ☑ 事業活動報告  
森林保全活動 日向の森・ウッディミナミの森



公益財団法人  
Save Earth Foundation

## トピックス

### 第1回 総会を開催しました！

10月31日、公益財団法人 Save Earth Foundation の第1回総会を開催いたしました。SEFは、資源循環事業、森林再生事業と2軸で事業を活動しております。それぞれの事業で、イベントや勉強会を通じて活動報告を行っていますが、両事業をまたいだ会員向けの報告会が無く、より多くの方に活動の主旨や内容を知っていただくために、今回初めて開催を致しました。初めての総会でしたが、66名と多くの方にご参加いただきました。

牛久保明邦顧問に開会の挨拶の後、事務局の三島より「SEFの16年の歴史について」、渡邊美樹代表理事から「SEFの事業目的と2030年のSDGs目標達成に向けて」、農林水産省生産振興審議官の安岡 澄人氏より「みどりの食料システム戦略とこれからの食料生産について」の講義をいただきました。最後に、百瀬則子執行理事から閉会の挨拶をしました。

ご参加いただいた方からは、「SEFの今までの歴史が分かり易くまとまっていた」「SEFが目指すべき方向性が理解できた」「みどりの食料システム戦略など国が目指している指針が理解でき、自分たちが何をすべきか勉強になった」という声をいただきました。

これからも設立目的である「美しい地球を未来の子どもたちに残すため、限りある自然資源を有効利用し、持続可能な循環型社会づくりに貢献すること」を実現するために、会員の方に共感を頂けるような活動を邁進していきますので、引き続きご支援の程よろしくお願いたします。



渡邊美樹代表理事



安岡 澄人農林水産省生産振興審議官



### ご寄附いただきました。ありがとうございます！

賜りましたご寄附につきましては、美しい地球を子どもたちにのこすために、1円も無駄にすることなく、大切に使用させていただきます。

一般寄附 ●株式会社トラスキー (170,000円) ●ワタミ株式会社 (121,010円)

指定寄附：森林再生事業 ●ワタミ株式会社 (115,870円)

ゼロエミッションの実現に向けて、食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正処理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

## 7月21日 第2回 勉強会

オンラインとのハイブリット開催となったため、38社86名と多くの方にご参加いただきました。

今年のテーマは、京都市での食品廃棄ゼロエリア構築となり、参加店舗は計量機を設置し、食品残さと食品ロスを計量、データ分析を行い廃棄物の発生抑制を図ります。データ分析でご協力いただく京都大学 大学院地球環境学 准教授 浅利美鈴氏に「京都市食品焼却廃棄ゼロをめざして」というテーマで講演をいただきました。また、参加店舗は「京都市食べ残しゼロ推進店舗」活動を通じて、消費者への啓発活動を促進します。京都市様と連携しながら活動していきますので、京都市環境政策局 資源循環推進課 担当課長補佐の木屋範久氏に「京都市食べ残しゼロ店舗の御案内」をご紹介いただきました。

### 「京都市食品焼却廃棄ゼロをめざして」

京都大学 大学院地球環境学 准教授 浅利 美鈴氏

京都市と京都大学では1980年よりごみの展開調査を始めていること、またその家庭ごみを約400種類に分類することで、ごみの減量のためにどうすればよいのか、外部環境である社会はどう変化しているのか分析を行っていることを紹介いただきました。家庭ごみの展開調査により同じブロッコリーでも、個食が増えているために1房で売られているものから、切り分けて小分けにされているものまであり、「ごみ」は社会の変化を写す鏡と浅利先生が表現された理由にとっても考えさせられました。

## 9月15日 第3回 視察会

第3回勉強会では、食品リサイクルループで要となる、飼料化施設の視察会を行いました。

コロナ感染症を鑑み、今回の京都市の食品リサイクルループに参加する企業を中心に、17社32名が参加しました。

### 視察 ●飼料化施設：京都有機質資源株式会社

京都有機質資源株式会社様では、関西最大級の食品リサイクルシステムが設置され、食品廃棄物を飼料に再生しています。油温減圧乾燥システムを使い、集められてきた食品廃棄物(原料)に油分を配合し、減圧化で熱して速やかに水分を蒸発、その後配合した油分を除去して、固形化、破碎され再資源化製品となります。

実際に、収集運搬業者が施設へ搬入する工程や、どのような状態で搬入されているのか、確認することができ、参加者からはどのような状態で食品廃棄物を出せばよいのか、基準が分かり勉強になったという声がありました。また実際に、再資源化製品になるまで一貫して管理されており、食品未利用資源が飼料になるまでの処理フローが完結されていることに驚きの声がありました。



飼料化施設の視察



ごみ計量機の使い方についてレクチャーの様子

## 2022年度ゼロエミッション研究会 参加者募集

### 【日程】全6回

終了●第1回—5月19日(木) 終了●第2回—7月21日(木)  
終了●第3回—9月15日(木) ●第4回 11月17日(木)  
●第5回 1月19日(木) ●第6回 3月16日(木)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料

※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

### 【講師】

- ・百瀬則子氏  
(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
- ・志岐秀明氏  
(SEF理事、株式会社ガイドリーム代表取締役)
- ・牛久保明邦氏  
(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEFホームページからお申込みください。 <https://save-earth.or.jp/archives/8599>

## 森林再生事業 活動報告

# 日向の森・ウッディミナミの森で 森林保全活動を実施しました！

日向の森・ウッディミナミの森で森林保全活動  
※2022年7月～9月

活動日	場所	イベント	参加人数	
7月	9日	日向の森	定例保全活動	10名
	23日	日向の森	定例保全活動	14名
8月	13日	日向の森	定例保全活動	15名
	27日	日向の森	定例保全活動	17名
9月	10日	日向の森	定例保全活動	11名
	17日	日向の森	定例保全活動	9名
	25日	ウッディミナミの森	保全活動	10名

2021年4月～2022年9月末までの累計

日向の森 **474名** 海上の森 **35名**

ウッディミナミの森 **10名**

## ◎日向の森（千葉県山武市）活動報告

8月27日(土)千葉県山武市の日向の森で、下草刈り、ため池の整備、生態調査などの保全活動を行いました。参加者は17名と普段の活動より多かったため、作業班を4つに分け、5月に植樹した区域の下草刈り、8月に実施した樹木の胸高直径の計測の続きを実施する班、ため池周辺の下草刈り班、ため池の生態調査班に分かれ、作業を行いました。

参加した小学生親子や高校生等の学生には、生物多様性の学習をかねて、ため池の整備と生態調査を担当してもらいました。調査作業としては、魚を捕獲できるような大きな網を使い、泥をすくい、水ですすぎ、網の中にいる生物がいるかを確認します。

直径1センチ程度のザリガニの幼体を多く発見でき、その他にもアメンボや希少なゲンゴロウの仲間も散見できました。外来生物のザリガニが多く見受けられたため、在来生物保護のために、ため池の管理を強化していきます。



ため池で泥をすきました

## ◎ウッディミナミの森（兵庫県丹波市）活動報告

9月25日(日)兵庫県丹波市のウッディミナミの森で、間伐、除伐などの保全活動を行いました。ウッディミナミの森は、市島南自治会が所有する2haの山林で、林齢40年ほどの桧の人工林です。SEFでは、平成29年から自治会の保全活動を支援させていただいています。

まず、参加者の自己紹介の後、森林の多面的機能のお話をさせていただきました。その後、桧1本を手鋸で伐倒。枝を落とし、玉切り、土場に並べるところまで、全て手作業で行いました。



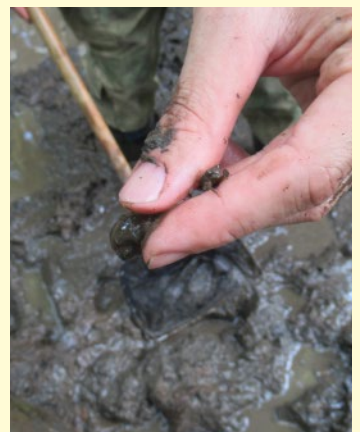
ウッディミナミの森集合写真



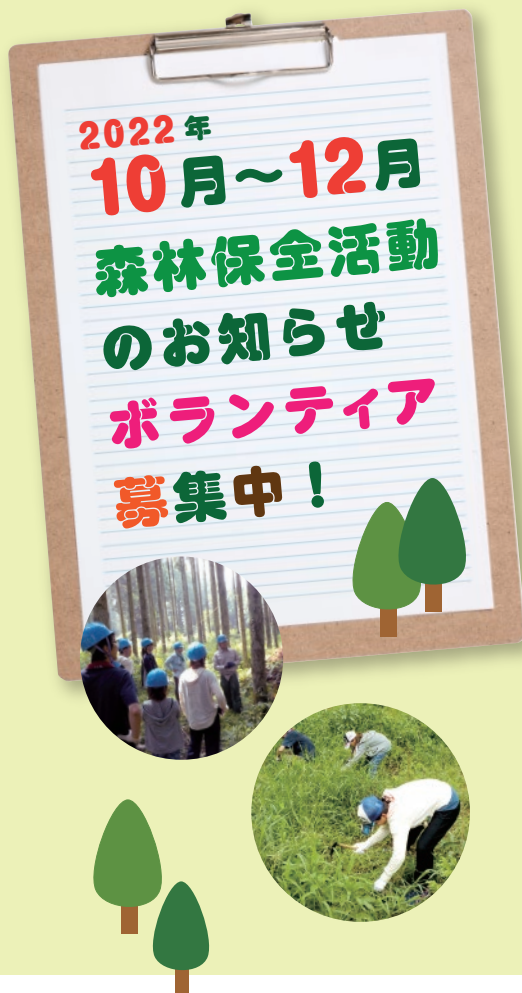
日向の森集合写真



網の中には、落ち葉や泥でいっぱい



ゲンゴロウの仲間を発見！



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

### <2022年10月～12月の活動予定>

#### ●千葉県山武市(日向の森)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

10月8日(土)、10月29日(土)

11月12日(土)、11月26日(土)

12月10日(土)、12月24日(土)

#### ●愛知県瀬戸市

(海上の森)

12月17日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

## 賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品リサイクルループ構築支援</li> <li>・「企業の森づくり活動」支援</li> <li>・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導</li> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> </ul>		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1 □	500,000 円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1 □	50,000 円
		資源循環サポーター	1 □	50,000 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	50,000 円(森林再生事業に用途を限定)
	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> <li>・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行</li> </ul>		
		賛助会員	1 □	10,000 円
		資源循環サポーター	1 □	1,200 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	1,200 円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

